## 管理会計論(会計学[午前]) 過去の論文式本試験の出題テーマ

		第1問		第2問	
		テーマ	難易度		難易度
2006年	問題1	総合原価計算(工程別)	В	標準原価計算、 事業部制組織	В
2000-	問題2	標準原価計算	С	設備投資意思決定	С
2007年	問題1	製造間接費の配賦	Α	予算管理 (予算編成と予算統制)	В
2007-	問題2	CVP分析、 原価管理	В	資金管理とキャッシュ・フロー管理	С
2008年	問題1	標準原価計算、 CVP分析	В	原価管理(原価企画)	В
2000-	問題2	総合原価計算(組別)、 ABC	С	設備投資意思決定	Α
2009年	問題1	総合原価計算(等級別、組別)	В	差額原価収益分析(自製か購入か)	В
2009#	問題2	標準原価計算、 ABC	В	分権組織とグループ経営の管理会計 (事業部制組織における業績評価)	В
2010年	問題1	総合原価計算(単純、工程別)	В	原価管理(原価企画)	В
2010-	問題2	CVP分析、 ABC	В	設備投資意思決定	Α
2011年	問題1	部門別個別原価計算	Α	資金管理とキャッシュ・フロー管理	В
2011-	問題2	標準原価計算、 原価管理	В	差額原価収益分析	С
2012年	問題1	標準原価計算	Α	設備投資意思決定	В
2012-	問題2	予算、標準原価計算	В	分権化組織とグループ経営の管理会計 (事業部制組織における業績評価)	В
2013年	問題1	部門別個別原価計算	С	設備投資意思決定	В
2013-	問題2	総合原価計算	С	事業部の業績測定、 内部振替価格	В
2014年	問題1	実際総合原価計算、 標準原価計算	Α	業務的意思決定 (最適セールス・ミックスの意思決定)	С
2017—	問題2	ABC	Α	予算管理(予算編成、予算管理と人間行動)	С
2015年	問題1	費目別計算、部門別計算、 総合原価計算	В	資金管理 (キャッシュ・サイクル)	В
2013-	問題2	仕損・減損の発生と標準原価計算	В	予算管理、分権組織とグループ経営(事業部の業績測定)、設備投資意思決定	В
2016年	問題1	費目別計算、製造間接費の配賦計算、個別 原価計算、総合原価計算(組別)	В	資金管理(資金繰表、資金運用表)	В
20104	問題2	標準原価計算	В	部門別計算、 ABC	В
2017年	問題1	部門別計算 (補助部門費の配賦、原価管理)	Α	設備投資意思決定	С
20174	問題2	標準原価計算 (仕損・減損の発生と標準原価計算)	Α	分権組織とグループ経営の管理会計 (内部振替価格)	С
2018年	問題1	総合原価計算(連産品、副産物)、 業務的意思決定	С	資金管理とキャッシュ・フロー管理	С
2010-	問題2	標準原価計算 (仕損・減損の発生と標準原価計算)	Α	ABC、 業務的意思決定	Α
2019年	問題1	費目別計算、製造間接費の配賦計算、個別 原価計算	Α	原価管理(原価企画)、 業務的意思決定	Α
2013+	問題2	標準原価計算(仕損・減損の発生と標準原価計算)、減損率が安定している場合	В	業務的意思決定、 設備投資意思決定	С

A ⇒ 平易 素点ベースで、6~7割以上の得点が望まれる。 ほとんどの論文受験生が解ける。 B ⇒標準 素点ベースで、4~5割の得点が望まれる。 合格するような論文受験生なら解ける。 C ⇒難解 素点ベースで、2~3割の得点が望まれる。 ほとんどの論文受験生が解けない(埋没問題)。

論文式試験 に対し、日頃 の勉強は?

概ね、第1問が「原価計算」領域からの出題で、第2問が「管理会計」領域からの出題。

全ての問題が難解(Cランク)という年はない。

→ <u>平易な問題(Aランク)と、標準的な問題(Bランク)をいかに早く見つけて、</u> <u>得点を効率よく「拾えるか」・「積み上げられるか」が重要。</u> (いかに、難解な問題にハマらないか)

基礎力を徹底的に身に付け、試験会場で応用できる力を磨くことが重要。

講義と復習でしっかりインプットし、各種の答練で本試験を意識したアウトプット練習をする。

# 管理会計論(会計学[午前]) テキスト重要性一覧 + 過去の論文式本試験出題実績 早見表

前ページの、過去の論文式本試験の出題テーマを、テキストの項目別に整理すると、次のようになる。 (注意点)

- E思点) ・「重要性」は、「学習ガイドライン」に記載されているものと同じである。 ⇒「計算問題」と「記述問題」の両方を含む、「論点」としての重要性であって、「記述問題」のみとしての重要性ではない。 ・公認会計士試験が現行制度のもとで実施された2006年以降のデータを収録している。 ・出題実績は、あくまでも「**論文式**」本試験のものである。

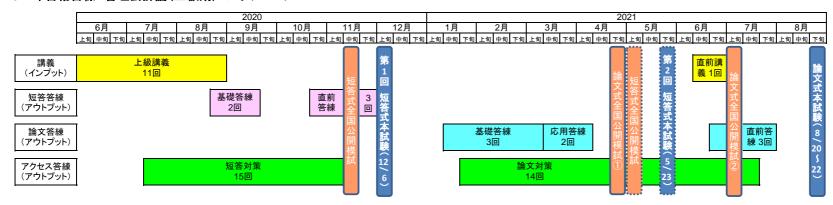
- ★ ··· 当該「章」のテーマが、「計算問題」または「記述問題」として出題されたことを表す。
   ··· 当該「節」の内容が、「記述問題」として出題されたことを表す。

  □ **宣要性A-Bの論点の理論問題は、いつ出題されてもおかしくないので、対策必要。**

	CE /CC-1 /CC-/CC	重	要性	論文式本試験の出題実績													
	原価計算編		論文	'06	'07	'08	'09		'11					'16	'17	'18	Ι.
<b>生</b>	<b>万压计算</b>																
	<b>原価計算総論</b> 原価計算基準	1 ^	С												*		Ļ
	R1個計算基準 原価計算制度と特殊原価調査	A	C						ļ						0		+
																	+
	原価の要件と非原価項目 原価の諸概念(基準4)	A	С														+
		A	С														+
	原価の分類と製造原価の分類	A	С														+
第6節 隻	製品原価計算の手続と工業簿記	С	С												<u> </u>		L
第2章	費目別計算										*		*	*			I
	費目別計算の手続	В	С														T
第2節 柞	材料費の計算	Α	В								0		0				t
第3節 労	5務費の計算	Α	В														t
第4節 総	<b>圣費の計算</b>	В	С														t
			L	l .					1								_
第3章	製造間接費の配賦計算				*				*	*			*	*			
	製造間接費の配賦	В	С						<u> </u>				0		<u> </u>		ļ
	製造間接費の予定配賦	В	В						0								1
	<b>基準操業度</b>	Α	В							0							
第4節 嬰	製造間接費予算	В	В														
生 4 音	部門別計算							1	1		_		1	1			Ī
	「ロト」	I A	В					0	*		*		<b>*</b>	*	*		+
	17月別計算の手続	A	A					-	0		0		0		_		+
	製造部門費の予定配賦	A	A	-									0		0	-	+
第5章	個別原価計算								*		*			*			
	製品別計算の基礎	А	С														T
第2節 個	固別原価計算の基礎	Α	Α														T
第3節 台	上損の会計処理(基準35)	Α	Α														T
第4節 化	F業屑の会計処理(基準36)	Α	В														Ī
第6音	総合原価計算			*		*	*	*			*	*	*	*		*	Ī
	<b>№ 口 /永  四 口 子</b> 総合原価計算の基礎	A	Α	_			_	_			_	_		_		_	+
	明首仕掛品があるときの計算(基準24)	A	A												-		+
	自由対明の役入	A	A														+
	ョルが行の投入 上損・減損の会計処理	A	A	_							_						+
	□預・減損の云司処理 □程別総合原価計算	A	A	0							0					-	+
	L性別総合原価計算(基準23)	A	В	1				0	<b>!</b>		1				<del>                                     </del>	-	+
		A						-	<b>!</b>					0	<u> </u>	-	+
	等級別総合原価計算(基準22) 重産品および副産物の計算	A	B B				0	-	<b>!</b>					-	₩		+
는 UDOck	E/生四43よい側性が少計昇	А	Ь	<u> </u>		<u> </u>	0	L	1	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1	Ь	0	L
第7章	標準原価計算			*	*	*	*		*	*		*	*	*	*	*	Ī
	票準原価計算の基礎 《上級》	А	В	0		Ì			0			Ì	Ì				Ť
	票準原価計算の手続	Α	Α	0	0				Ť	0			0		0	0	t
	票準原価差異の詳細な分析	Α	Α	Ť	Ť				<b>†</b>	Ť			Ť		Ť	Ť	t
	上損・減損の発生と標準原価計算	А	Α							0			0		0	0	t
佐っ辛	古拉匠压具体																_
	直接原価計算																1
	直接原価計算の意義 2対原係計算と支持原係計算の担急	С	С	<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	Ь—	<u> </u>	+
	と部原価計算と直接原価計算の相違 1800年7月2日 (大洋20)	В	С						<u> </u>						Ь—	Ь—	+
	国定費調整(基準30)	Α	С			1	I	I	1								l
	拉棒港店厅工等	_	_														
第4節 直	直接標準原価計算 2グメント損益の計算	B B	C C														ļ

T 立尺 🛊	管理会計編	重	要性					1	論文	式本語	式験のと	出題実績	績				
T 1215 1	自连去门棚	短答	論文	'06	'07	'08	'09		'11					'16	'17	'18	
	管理会計総論																
	理会計の意義と機能	Α	С														
	略と管理会計の関係 《上級》	В	С														
第3節 品	質原価計算	В	С														
																	_
第2章	財務情報分析《上級》																l
	務諸表分析	В	С														
	益性分析	Α	С														
	全性分析	Α	С														
第4節 キ	ヤッシュ・フロー分析	Α	С														_
かっゴ	0.04				_	A		A									
	CVP分析				*	*		*									
	/P分析の基礎	С	С														_
	/P分析の方法	Α	Α		0	0											_
	/P分析の前提と応用	A	В					0									_
第4節 原	価予測の方法	В	С														_
笛/辛	予算管理				_					4		4	4				
		Λ			*					*		*	*				
	算管理の基礎 算の体系と種類	A B	С						<u> </u>	-		-		-			_
	算の体系と種類 算編成	В	C B						<u> </u>	-				-			_
	昇編以 算統制	А	В						1	1		0	<b> </b>	1			_
	算形的 算管理と人間行動 《上級》	A	В														-
	算管理システムが抱える問題点 《上級》	C	С									0					-
NJOEN J.	舞台在シバノムが16元の同意点 ((工)以)	C	C			l	l	l			l				l		-
笙5音	資金管理《上級》				*				*			*	*	*		*	Ī
第1節	会には、1 100mmのである。 会には、1 100mmのである。 会には、1 100mmのである。	В	С						^			0				^	
	転資金の管理	В	В									_	0			0	-
717—241	1100 5 100 100 100 100 100 100 100 100 1	<u> </u>				<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>		-					
笙6音	原価管理《上級》				*	*		*	*	*							Ī
	価管理の新しい体系	С	В														
	価企画	A	В		0												-
	価維持と原価改善	В	В					0		0							-
	価企画・原価維持・原価改善の相互関係	В	В					0	0	Ŭ							
																	-
第7章	ABC/ABM					*	*	*				*		*		*	Ī
	統的な原価計算の問題点	В	В											0			
第2節 AE		Α	Α					0						Ť		0	
第3節 AE	BM 《上級》	В	С														
									1								
第8章	業務的意思決定				*		*		*			*				*	
	思決定の基礎	В	В				0					0					
	注可否の意思決定	Α	В														
	製か購入かの意思決定	Α	В		0				0								•
	売か追加加工かの意思決定	Α	В														_
	適セールス・ミックスの意思決定	Α	В														
	済的発注量の計算	В	С														
第7節 価	格決定	В	С														_
体での主	机进机次车中头壳			<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>	<b>A</b>		<b>A</b>		<b>A</b>		
	設備投資意思決定		_	*		*		*		*	*		*		*		
	間損益とキャッシュ・フロー	C	В	_		_		_	ļ	ļ	0	ļ	ļ	ļ	<u> </u>		_
	が備投資案の評価方法 PNGは KIRRはの対比 // FARN	A	A	0		0		0	<u> </u>	<u> </u>	0	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	0		_
	PV法とIRR法の対比 《上級》	В	В	0					<u> </u>	<u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			_
	ャッシュ・フローの予測 人税等の影響	A	A						1	1		1	<b> </b>	1			_
	大祝寺の影響	A	A			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		_
具 加 Units	<b>オ</b> コハ11	_ ^	_ ^	l		L	<u> </u>	L	1	<u> </u>	L	<u> </u>	L	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	-
笙10音	分権組織とグループ経営			*			*			*	*		*		*		
	権化と管理会計	В	С				_			_	_		_		_		_
	推10と目達去司 業部の業績測定	А	A				0		<u> </u>			<del>                                     </del>	<del>                                     </del>	<del>                                     </del>	<u> </u>		_
	木山ペノ木根が圧					<u> </u>		<b>—</b>	1	0	<del>-</del>	-	-	1			_
	部振琴価格 《上級》	Λ.	Λ.	$\sim$			$\sim$										
第3節 内	部振替価格 《上級》 本企業における事業部制の展開	A B	A B	0			0				0						-

### 2021年合格目標 管理会計論(上級期) スケジュール



※ それぞれの答練の出題内容と目的は、別途配布の「学習ガイドライン」参照のこと。

#### ★スケジュールから言えること

- ・12月の短答式本試験に失敗すると、8月の論文式本試験向けの学習にあわせて、5月の短答式本試験も意識した勉強をしなければいけなくなるので、負荷が相当かかる。
- ・是が非でも、12月の短答式本試験に合格しよう!!!

#### ★夏上級講座の受験生が、合格するために必要な要素

	ポリシー	短答式 (近年は難しい。大コケしないために)	論文式 (全科目ベースの得点比率52.0%)
計算	他の受験生に圧倒的な差をつけることを目指すのではなく、合格者の多くが正答する問題を確実に正答する。 短答式・論文式の学習方法に大きな差はない。	・基礎計算力。 ・問題の取捨選択力。  ⇒いずれも論文式試験勉強のなかで培われる。	- 基礎計算力。 - 問題の取捨選択力。
理論	短答式と論文式で要求されるスキルが異なる。	・4つの文章を相対的に正誤判定できる基礎力。 ・原価計算基準。	- 問題の流れや出題者の意図を汲む力。 ・まとめる力と、説得的に論述する力。 ・キーワード。 ⇒白紙は絶対ダメ(他の受験生に、書き負けない)



これを身に付けるために、

#### ★学習方法(インプット)

講義	最大集中して受講し、疑問点は残さず、質問でその場で解決する。
神神神	テキストをベースに進めるが、基礎マスターと同レベルの解説は割愛し、重要論点や難解論点の解説に力点を置く。
復習	テキスト、例題集、トレーニング、短答理論問題集。
1次日	講義後、できるだけ早い時期に。 計算は、繰り返し繰り返し解く(素振りと同じ)!
	教材を回転させる(理論は、最後は何回転できたかが勝負になる ex.10日で1回転など)。
回転	理論は、書いていると時間や労力がもったいないので、独り言で喋るのも1つのやり方。
IEI 부ム	答練の理論の解答を丸暗記しても、論文本試験でそのまま出題される可能性は低い。 ⇒テキストの基礎的な理論を徹底理解&暗記。
	学習の中心に据える教材は、不安になっても手を広げすぎないこと! ⇒知識の幹となる教材をしぼり、範囲を限定し、その習得に専念する。

#### ★学習方法(アウトプット)

上のスケジュールのとおり、各種の答練で、本試験を意識した練習を行う。

(それぞれの答練の性質は、「学習ガイドライン」参照のこと。)

そのつど、なぜ得点が伸びたのか?伸びなかったのか?を分析し、その後の学習にフィードバックする。